

## 238 床のケアミックス病院において病院機能評価受審を利用して 診療情報管理室を立ち上げた一例

2005/01/08 (医) 防治会 いずみの病院

### I. 当院の概要

\*所在地：高知市

\*病床数：238 床

一般病床 130 床	I 群入院基本料 2	118 床
	(内、亜急性病床 13 床)	
	緩和ケア	12 床
療養病床 108 床	医療療養病棟	60 床
	回復期リハビリ病棟	48 床

\*診療科：内科、循環器科、外科、整形外科、脳神経外科、神経内科、消化器科、泌尿器科  
放射線科、眼科、麻酔科、リハビリテーション科（全 12 診療科）

\*設立：2001 年 7 月  
(前身の四国勤労病院と梅ノ辻病院の統合移転による)

\*年間退院数（2003.4～2004.3）：1,660 人

\*診療情報管理室：専任 2 人＋室長（事務部次長）＋副室長（医事課長）  
(2004 年 4 月より専任体制確立)

### II. 「病院機能評価受審と診療情報管理室立ち上げ」前史

#### (1) 背景と出発点

\*1979 年 11 月 四国勤労病院開院

- ・「労組の労災職業病闘争との共闘」が旗印
- ・振動病、じん肺患者が患者層の中心
- ・労働者（患者）の健康権擁護が病院理念の軸

\*時の流れ&患者層の変化

- ・職域から地域（老人医療 etc.）へ
- ・理念の空洞化？

(例) 日本医師会「診療情報提供指針」(1999 年)を受け、診療情報提供規程策定を試みたがコ  
ンセンサス得られず

#### (2) 開院から病院機能評価受審決定まで

\*2001 年 7 月 いずみの病院開院……理念等の整理

- ・医療法人防治会理念／いずみの病院理念 <http://www.izumino.or.jp/kihon/rinen.htm>
- ・患者の権利章典 <http://www.izumino.or.jp/kihon/rinen.htm>

\*四国診療情報管理セミナーへの参加（2001/12～）

\*診療情報管理士通信教育受講開始（2002/07）

\*2001 年度年報発行（2002/07）

\* 診療録管理委員会の立ち上げ (2002/10)

\* 2003 年度病院事業計画骨子 (2003/03)

※診療情報管理室立ち上げ方針明確化

\* I C 推進のための仕掛けづくり

- ・小冊子の販売 (医者にかかる 10 箇条、私のカルテ)
- ・患者さまへのお約束 <http://www.izumino.or.jp/katudo/katudo.htm>
- ・ビデオ&図書コーナー設置 (→ 患者図書室?)

### III. 病院機能評価受審と診療情報管理室立ち上げ

- 2003 年 07 月 病院機能評価受審申し込み
- 2003 年 08 月 診療情報提供規程 <http://www.izumino.or.jp/katudo/katudo.htm>
- 2003 年 08 月 診療記録開示委員会規程 <http://www.izumino.or.jp/him/seminar050108.htm>\*
- 2003 年 10 月 パンフ「診療情報提供のご案内」 <http://www.izumino.or.jp/katudo/katudo.htm>
- 2003 年 12 月 診療情報管理室立ち上げ
- ・病歴管理ソフト導入
  - ・2001.7 開院以降の病歴入力 (電算室職員による)
- 2004 年 01 月 診療録管理規程 <http://www.izumino.or.jp/him/seminar050108.htm>
- 2004 年 03 月 病院中長期計画、2004 年度重点施策 (診療情報管理体制確立を再度位置付け)
- 2004 年 04 月 診療情報管理室専任体制確立 (新採+異動により)
- 2004 年 04 月 診療録貸出利用規程 <http://www.izumino.or.jp/him/seminar050108.htm>
- 2004 年 05 月 カルテ綴じ順ルール改訂
- 2004 年 05 月 医療におけるプライバシー保護指針 <http://www.izumino.or.jp/katudo/katudo.htm>
- 2004 年 05 月 職員ハンドブック (副題: 患者本位の医療実践のために) 作成  
※資料集として各部署に配置. 診療情報提供についても 1 章設ける
- 2004 年 05 月 診療情報管理に関する職員研修会 (Dr. 14 名を含む 75 名出席)
- 2004 年 06 月 訪問審査
- 2004 年 07 月 診療録管理体制加算算定開始
- 2004 年 09 月 認定留保決定 (報告書受取: 11 月)
- 2004 年 12 月 再審査申込

※「seminar050108.htm」は本セミナー用の臨時ページです (3 月末まで表示予定)。

### IV. 病院機能評価受審効果について

短期間で多くの事が実現できたのは、病院機能評価という“外圧”の力が大きい

(例) サマリ作成率

### V. まとめ

当院の場合は、病院機能評価の“外圧”を利用しながら、運営委員会 (=病院幹部会) の委員のひとりが診療情報管理室長を兼ねるという「自作自演」的なかたちで診療録管理体制の最初の整備を進めることができた。

各医療機関にはそれぞれの事情があり、体制整備を進めるうえでの条件も様々だろう。だが、基本的にものをいうのは、患者の権利と医療の質にとって質の高い診療情報管理が必須であるという担当者の「確信」であり、それを目指す「熱意」である。